

やまざとの風

山里中学校だより（学力調査）

2022.12.16 号

文責 シャオリ



～心を込めた「あいさつ」「校歌」 輝く「笑顔」～

本年度行われた学力調査の結果をお知らせするとともに、課題の解消に向けての「学力向上対策」についてお知らせします。

調査結果の見方 ☆各調査の平均は正答率(%)を示しています。

全国(県・市)比が	大きく上回っている	+5%以上	◎	本校の強み
	上回っている	+3%～+5%	○	今後も継続的に向上を目指す内容
	変わらない(同等)	-3%～+3%	—	
	下回っている	-3%～-5%	△	本校の弱み
	大きく下回っている	-5%以下	▲	対策を立てて改善向上を図るべき内容

全国学力調査・学習状況調査（3年）

対象学年：第3学年 教科：国語・数学・理科 実施日：令和4年4月19日(火)

国語		知識・技能	思考・判断・表現	総合
	山里中	— (-)	— (○)	— (○)
	長崎県	68.4	61.7	63.0
	全国	69.0	62.3	69.0

※()内は県との比較

全体的には良好と言えます。「知識・技能」の項目では、「我が国の言語文化に関する事項」、「思考・判断・表現」の項目では「書くこと」に苦手意識が見られるため、改善に向けて指導しています。

数学		知識・技能	思考・判断・表現	総合
	山里中	— (-)	— (-)	○ (○)
	長崎県	56.3	33.7	48.0
	全国	59.9	36.2	51.4

※()内は県との比較

領域別で見ると、県、市及び全国を上回ることができています。既習事項をもとに、自分の考えを数学的な表現を用いて説明する力をさらに伸ばす指導を行っています。具体的には、お互いの意見を交流させ自分の考えを説明する力を伸ばすために、小集団学習の機会を増やすなどの工夫をしています。

理科		知識・技能	思考・判断・表現	総合
	山里中	— (-)	— (-)	— (-)
	長崎県	43.8	49.8	48.0
	全国	46.1	51.0	49.3

※()内は県との比較

実験の計画を検討して改善できるかどうかを見る問題では無回答率が42.4%(県は29.8% 全国は29.4%)と高く、「思考・判断・表現」の記述式の問題に意欲をもって取り組む姿勢が求められます。その改善策として、実験の計画を検討して改善する場面を増やし、自分の考えをまとめ、作図の技術を向上させるための工夫を取り入れています。

長崎県学力調査（3年）

対象学年： 第3学年 教科： 英語 実施日：令和4年4月20日(水)

英 語		聞 く こ と	読 む こ と	書 く こ と	総 合
	山 里 中	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
長 崎 市	74.5	64.1	30.8	54.9	
長 崎 県	74.9	63.7	29.5	54.5	

※()内は市との比較

各領域平均でしたが、聞く力の「自然な口調で話される日常的な話題についての対話を聞き、情報を正確に聞き取る問題」で長崎県平均より-7.4ポイント、書く力の「与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある英文を書く問題」で長崎県平均より文法 -7.5 構成力 -11.8ポイントと低いため、言語活動の中でも「書く活動」に力を入れています。

長崎県学力調査（2年）

対象学年： 第2学年 教科： 国語・数学 実施日：令和4年4月19日(火)

国 語		知識・技能	話 す こ と 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	総 合
	山 里 中	— (—)	○(—)	◎(○)	— (—)	○(—)
長 崎 市	78.9	47.9	54.5	34.1	55.2	
長 崎 県	78.3	46.2	53.0	33.5	54.3	

※()内は市との比較

書くことに苦手意識があり、語彙や文法を活用できるまでの力を身につけていくことが今後の課題です。

数 学		数 と 式	図 形	関 数	データの活用	総 合
	山 里 中	○(○)	— (—)	— (—)	○(○)	— (—)
長 崎 市	59.1	53.4	53.0	52.0	54.8	
長 崎 県	59.8	56.2	51.3	53.7	55.8	

※()内は市との比較

基本的な作図の意味を理解し、それを具体的な場面で活用することができていませんでした。また、空間図形の性質や展開図を理解できていなかったため、復習が必要です。現在は小テストを計画的に実施し、基礎基本の定着を図っています。

【領域別】 ※県平均との比較

・数と式・・・+2.6 ・図形・・・-2.0 ・関数・・・+1.5 ・データの活用・・・+2.1

長崎市学力調査（1年）

対象学年： 第1学年 教科： 国語・数学 実施日：令和4年4月19日（火）

国語		知識・技能	思考・判断・能力	主体的に取り組む態度	総合
	山里中	-(○)	-(-)	△(-)	-(-)
	長崎市	61.9	48.0	34.0	54.6
	全国	64.2	51.3	39.0	57.3

※()内は市との比較

自分の考えを根拠を示しながら明確に書いたり、問題文から条件を読み取って書いたりする機会を増やし、書く力の向上を目指しています。

数学		知識・技能	思考・判断・能力	主体的に取り組む態度	総合
	山里中	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	長崎市	70.3	69.4	66.0	70.0
	全国	69.9	67.8	64.9	69.2

※()内は市との比較

少数及び文字の入った式の計算、線対称な図形、グラフの読み取り、単位量当たりの値を求めること、中央値や(帯)グラフの読み取り(説明)に課題があります。反復練習とグラフを読み取る練習、記述式による問題演習に力を入れています。

質問紙調査の結果から

- ▲自分にはよいところがある 全国より-2.3ポイント ↓ ⇒自尊感情の低さ
- ▲授業以外に2時間以上の勉強をしている 全国より-3.5ポイント ↓ ⇒家庭学習の習慣化に課題
- ▲今住んでいる地域の行事に参加している 全国より-20.6ポイント ↓ ⇒地域との連携に課題

○自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

全国 63.3 長崎県 59.8 本校66.9

○学級の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

全国 78.7 長崎県 78.8 本校 85.6

○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

全国 71.7 長崎県 80.0 本校82.8

○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

全国 85.5 長崎県 88.2 本校92.0

話し合いや発表の場を多く設けることで、自分の考えを整理したり、深めたりしていると感じている生徒が増えている。

本校の学力向上対策

学力調査の結果や学校評価を踏まえて、本校では以下のような学力向上対策に取り組んでいます。

1 授業の充実

【授業改善・指導力向上】

本校では、学力調査結果の分析や生徒の実態把握に努め、「楽しい授業」「わかる授業」「鍛える授業」を目指します。各教科「研究授業」を推進し、「授業の充実」や「指導力の向上」を目指しています。

【学力向上を目指した重点努力事項】

授業での重点努力事項 ・学習規律(授業の約束)の徹底 ・学習者用PCの活用 ・「聞く活動」「考える活動」「書く活動」「伝える活動」の充実	「授業の約束」 1 挨拶は元気よくしよう 2 考えや思いを伝える声で発表しよう 3 話は正しい姿勢で目・耳・心で聴こう
---	--

【モジュール学習】

1校時目が始まる前の10分間、5教科において、問題演習を行っています。基礎・基本の定着に成果を上げる学習です。

【ほっとタイム】

テスト前の1週間、放課後学習会を行っています。30分間一人一人が課題に取り組んでいます。教科担当の教員に質問することができ、充実した学習環境の提供に努めています。

【きめ細やかな指導・支援】

○「TT 授業」

生徒の学習や生活の充実を図るため、複数の教師が指導に当たる「TT(チーム・ティーチング)」授業を数学科で、年間約280時間実施しています。

○「支援員」「大学生」の活用

本校に配置されている「特別支援教育支援員」や長崎大学からの「蓄積型実習生」を活用し、各教科の授業における学習支援を実施しています。

2 キャリア教育(進路学習)の充実

各学年の実態に合わせ、職業講話、キャリアパスポートなど、キャリア教育を実施しています。今後もさまざまな場面で「キャリア教育」の一層の推進を図っていきたいと考えています。

3 家庭学習の充実

「家庭学習」は自主的・計画的な取組が必要です。再度、各教科で家庭学習のやり方等について指導いたします。ご家庭においてもご協力お願いいたします。

4 生徒の意欲・意識向上

生徒自身が現状を把握し、学習意欲を高めることを目的として、学年ごとに学力調査伝達集会を開きました。集会では、学力調査の結果及び、勉強の仕方などについて話をしました。今後、生徒会の学習委員会や各学年を中心に対策を考え実行していきます。

本校の学力向上プランは、HPにも掲載しますのでどうぞご覧ください。